

第19期事業年度
(令和4年度)

決算報告書

自 令和 4年 4月 1日

至 令和 5年 3月31日

国立大学法人北海道国立大学機構

令和4年度 決算報告書 (第19期事業年度)

国立大学法人北海道国立大学機構

(単位：百万円)

区 分	予算額	決算額	差 額 (決算－予算)	備 考
収入				
運営費交付金	6,474	6,649	175	(注1)
施設整備費補助金	1,550	1,550	—	
補助金等収入	—	441	441	(注2)
大学改革支援・学位授与機構施設費交付金	50	20	△30	(注3)
自己収入	3,818	3,401	△417	
授業料、入学料及び検定料収入	3,432	3,010	△422	(注4)
財産処分収入	—	2	2	(注5)
雑収入	385	387	2	(注6)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	932	1,349	417	(注7)
引当金取崩	—	3	3	(注8)
目的積立金取崩	—	190	190	(注9)
計	12,825	13,606	780	
支出				
業務費	10,280	9,950	△330	
教育研究経費	10,280	9,950	△330	(注10)
施設整備費	1,600	1,570	△30	(注11)
補助金等	—	187	187	(注12)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	932	1,137	205	(注13)
長期借入金償還金	13	13	0	
大学改革支援・学位授与機構施設費納付金	—	0	0	
計	12,825	12,859	33	
収入－支出	—	746	746	

(注) 決算報告書は、百万円未満切り捨てにより作成しています。

(注) 「補助金等収入」には、授業料等減免費交付金が254百万円含まれており、本補助金は授業料等免除に使用しています。

○ 予算と決算の差異について

- (注1) 運営費交付金については、予算段階では予定していなかった追加交付がされたことにより、予算額に比して決算額が175百万円多額となっています。
- (注2) 補助金等収入については、予算段階では予定していなかった補助金が交付されたことにより、予算額に比して決算額が441百万円多額となっています。
- (注3) 大学改革支援・学位授与機構施設費交付金については、一部事業を翌年度に繰り越したことにより、予算額に比して決算額が30百万円少額となっています。
- (注4) 授業料、入学料及び検定料収入については、授業料収入が見込額を下回ったため、予算額に比して決算額が422百万円少額となっています。
- (注5) 財産処分収入については、予算段階では予定していなかった土地の譲渡が発生したことにより、予算額に比して決算額が2百万円多額となっています。
- (注6) 雑収入については、財産貸付料収入および講習料収入が見込額を上回ったこと等により、予算額に比して決算額が2百万円多額となっています。
- (注7) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、産学連携収入が当初の予定より249百万円増加したこと及び寄附金収入等が当初の予定より167百万円増加したことに伴い、予算額に比して決算額が417百万円多額となっています。
- (注8) 引当金取崩については、引当金による退職手当及び賞与の支払いに伴い、経費相当分を取り崩したことにより、予算額に比して決算額が3百万円多額となっています。
- (注9) 目的積立金取崩については、予算段階では予定していなかった取崩の発生により、予算額に比して決算額が190百万円多額となっています。
- (注10) 業務費については、教育研究経費において経費の節減に努めたことにより、予算額に比して決算額が330百万円少額となっています。
- (注11) 施設整備費については、(注3)に示した理由により、予算額に比して決算額が30百万円少額となっています。
- (注12) 補助金等については、(注2)に示した理由により、予算額に比して決算額が187百万円多額となっています。
- (注13) 産学連携等研究経費及び寄附金事業費等については、(注7)に示した理由により、予算額に比して決算額が205百万円多額となっています。